

次世代省エネ建材支援事業

三次公募期間

2020年11月2日(月)～11月20日(金)

補助対象となる次世代建材のご紹介

省エネリフォームをすると光熱費が安くなるだけでなく、快適に過ごせるようになります。
1部屋だけをリフォームする場合でも補助事業の対象です！



窓

外窓交換や内窓の追加を行うことで、快適な部屋の温度を逃がしません。工期も短いので導入しやすく、すぐに効果を実感できます。



断熱材

夏涼しく、冬は暖かく過ごせるよう、室外に出入りする熱の移動を減少できる建材です。様々な種類や形状があり、天井から床に改修を行うと補助対象となります。



調湿建材

室内の湿度を調整（吸放出）できる建材です。暖房時の結露対策にも効果があり、室内を快適な湿度に保つことができます。

NEW



防災ガラス窓

防災性と断熱性を合わせた製品が補助対象になりました。



断熱パネル

高性能な断熱材と下地となるボードが、一体となったパネルです。短工期で施工できるので、改修が必要な部屋だけを選んで施工できます。



玄関ドア

断熱玄関ドアに交換することによって、足元の冷え込みを防ぐことができます。また、玄関・廊下と部屋の気温差も軽減されることが期待できます。



潜熱蓄熱建材

17℃～28℃の温度帯の熱を吸収・放出する物質を組み込んだ建材です。室内温度の変動を抑えられるため、季節を問わず快適な室内空間が維持できます。

■ いずれかの製品での改修が必須です（必須製品）

■ 必須製品と同時に改修することで補助対象となります（任意製品）

詳細やモデルケースについては裏面をご覧ください ▶▶▶▶▶

補助対象について

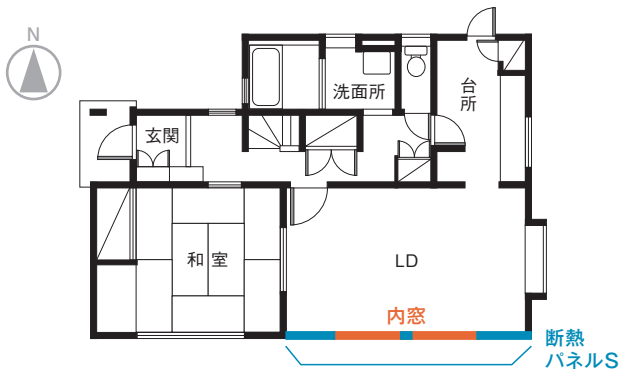
住宅区分	 戸建住宅	 集合住宅	補助率	補助対象費用の 1/2 以内
補助対象となる申請者	●個人の所有者又は、個人の所有予定者 ●賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)		補助金額 (上限金額)	 戸建住宅 1住戸当たり 200 万円※
事業内容	短工期で施工可能な高性能断熱パネルや潜熱蓄熱建材、調湿建材等の付加価値を有する省エネ建材を用いた住宅の断熱リフォーム事業			 集合住宅 1住戸当たり 125 万円※ ※下限金額：1住戸当たり20万円

申請可能な戸建住宅の断熱改修例

■ 導入必須の製品 ■ 任意製品

改修イメージに記載されている
施工箇所・金額・面積は一例です。

戸建住宅の改修イメージ①



導入必須の製品



断熱パネルS
施工面積 約7㎡
LD
約**21**万円

任意製品



内窓
LD2窓

24万円

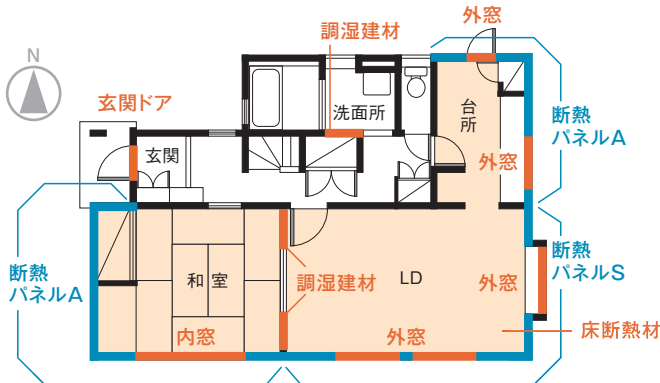
補助対象
経費合計

約**45**万円※

補助金額

約**22**万円

戸建住宅の改修イメージ②



導入必須の製品



断熱パネルS
施工面積 約15㎡
LD
約**45**万円

2種類のパネルを
活用したケース

断熱パネルA
施工面積 約30㎡
和室・台所
約**24**万円

約**69**万円^①

任意製品



外窓
LD・台所 5窓
99万円

内窓
和室 1窓
12万円



床断熱材
施工面積 約46㎡
約**34**万円



玄関ドアS
1枚
25万円



調湿建材
施工面積 約7㎡
約**5**万円

約**175**万円^②

補助対象
経費合計

約**244**万円(①+②)※

補助金額

約**122**万円

※補助対象経費の合計額は補助単価を用いて算出しておりますが、補助金額を約束するものではありません。

補助金交付の対象となる材料費や工事費の詳細については、SIIホームページから

https://sii.or.jp/meti_material02/

問い合わせ先

TEL **03-5565-3110**

【受付時間】平日 10:00～17:00 (通話料がかかりますのでご注意ください)

sii

一般社団法人
環境共創イニシアチブ
Sustainable open Innovation Initiative

次世代省エネ建材支援事業担当